

平成 27 年度
ふくしまスカイパーク指定管理者
活動実績報告書
(実施日順)

ふくしまスカイパーク指定管理者

特定非営利活動法人

ふくしま飛行協会

「JD-STER ドラックレース」

【開催日時】 第一回 平成 27 年 05 月 04 日（月）午前 09 時 00 分 ～ 午後 17 時 00 分
第二回 平成 27 年 06 月 07 日（日）午前 09 時 00 分 ～ 午後 17 時 00 分
第三回 平成 27 年 07 月 20 日（月）午前 09 時 00 分 ～ 午後 17 時 00 分
練習会 平成 27 年 10 月 12 日（月）午前 09 時 00 分 ～ 午後 17 時 00 分

【会 場】 ふくしまスカイパーク

【主 催】 JD スター事務局

【協 力】 NPO 法人ふくしま飛行協会

【来場者数】 5月4日 500人、6月7日 300人、7月20日 300人、7月20日 300人
(計 100 名)

【目 的】

全国数カ所で年に約 5 戦行っているドラックレースイベントを被災地復興のため、一昨年、昨年に引き続き今年も被災地東北の「ふくしまスカイパーク」で震災復興イベントと称し実施（ふくしまスカイパークでは 5 月 4 日、6 月 7 日、7 月 20 日の 3 回、また 10 月 12 日には練習会を実施）。県内外から多くの方（ライダー、スタッフ、来場客等）が来るのではないかとということで、観光、農産物販売の促進につなげるために会場設営等の協力をしました。

【内 容】

- ・ 規制ロープの設営
- ・ 三角カラーコーンの貸し出し
- ・ ホームページ、ブログなどで開催告知
- ・ 会場案内（放送）の協力など
- ・ 食事=W i n g ・ C a f e



JDSTER ホームページから



JDSTER ホームページから

以上

「ふくしまスカイアグリ 2015 未来に輝け世界のうつくしま
(農業きぼう祭) (こどもサイクルフェスタ)」

【日 程】 平成 27 年 5 月 23 日(土) 9:00~16:00
平成 27 年 5 月 24 日(日) 9:00~16:00

【主 催】 NPO 法人ふくしま飛行協会

【共 催】 福島市

【特別後援】 福島民報社、福島民友新聞社

【連携事業】 ふくしま FM

【目 的】

ふくしまスカイパークが国際的な着地型観光スポットとして地域経済効果に寄与することや地域防災航空拠点として地域の安心安全に寄与することを目的としたイベントを開催。当日は各種スカイスports (グライダー、ラジコン飛行機等の協力の下) の展示飛行、地域農産品や地元飲食店の販売、観光地の紹介等、地域の農家や地元企業とコラボレーションしたスカイスportsフェスティバルを実施した。また、昨年度イベントで植樹した「日本・スイス国交樹立 151 周年記念」の桜の木の散水式やスカイパーク無停電化の記念式典も併せて実施した。

【内 容】

- ・ オープニングヘリフライト
- ・ RC 飛行機デモフライト (笠岡/トーム FK)
- ・ 無人ヘリデモフライト (JAEA)
- ・ 福島県消防防災ヘリ/福島県警ヘリ展示飛行及び地上展示
- ・ 陸上自衛隊車両展示走行 (陸上自衛隊福島駐屯地)
- ・ エアロバティックス (室屋義秀選手)
- ・ オープニングセレモニー (飯坂八幡神社太鼓保存会)
- ・ 日本・スイス国交樹立 151 年 友好のアルプホルン演奏
- ・ 農産品販売、屋台広場 (うまい物市)

- ・福島観光 PR
- ・キッズパーク（日本宇宙少年団：折り紙ヒコウキ教室、クロスロード：カメラオブスキュラ教室など）

- USTREAM チャンネル（23日24日・2日間放送） 視聴者数：約 20,000
- 総来場者数：12,500人（正味1.5日）



日本スイス国交樹立
151周年記念式典



アンケートに答えた方に配布
したお米

イベントチラシ



同時開催こどもサイクル
フェスタ チラシ



陸上自衛隊、県警車両展示



同時開催こどもサイクル
フェスタ



出展の様子



福島県警ヘリ・福島県防ヘリ
展示飛行

以上。

「福島市広報広聴課 市政見学会」

【主 催】 福島市

【協 賛】 NPO法人ふくしま飛行協会

【開催日時】 平成27年 6月10日（水）午前10時40分～午後11時30分

【参加人数】 20人

【目 的】

ふくしまスカイパークの活動を見学（研修）する機会をとおり、ふくしまスカイパークの多目的活用や環境保全の取り組みを理解し市民の憩いの場であることを体験していただきました。また、震災後のスカイパークの活用についても紹介し、このことにより地域の新しい観光の施設拠点だけではなく防災拠点にもなっていることを周知しました。

【内 容】

- ・ 施設紹介
- ・ 通常の業務紹介と震災後のスカイパークでの支援活動などを紹介

【施設見学会の詳細】

- ・ 施設内の移動はバスで行う
 - 1 施設概要や業務の説明（エプロンにて）
 - 2 バスで滑走路走行
 - 3 機体展示場、常駐機などを紹介

【プレゼント】

- ・ スカイパーク・エコバック
[エコバック中身] パンフレット・行事PR紙

以上

「福島民友新聞社 社会科教室」

【主 催】 福島民友

【協 力】 NPO法人ふくしま飛行協会

【開催日時】 平成27年 6月18日（木）午前11時00分～午後13時00分

【参加人数】 42人

【目 的】

ふくしまスカイパークの活動を見学（研修）する機会をとおり、ふくしまスカイパークの多目的活用や環境保全の取り組みを理解し市民の憩いの場であることを体験していただきました。また震災後のスカイパークの活用についても紹介し、このことにより地域の新しい観光の施設拠点だけではなく防災拠点にもなっていることを周知しました。

【内 容】

- ・ 施設紹介
- ・ 通常の業務紹介と震災後のスカイパークでの支援活動などを紹介
- ・ 食事=Wing・Cafe

【施設見学会の詳細】

- ・ 施設内の移動はバスで行う
 - 1 管理棟見学
 - 2 バスで滑走路走行（RUNWAY32 から離陸スピード体感400メートル地点まで加速）
 - 3 機体展示場、常駐機などを紹介

【プレゼント】

- ・ スカイパーク・エコバック
[エコバック中身] パンフレット・行事PR紙

以上

「みんぼう社会科教室」

【主 催】 福島民報社

【協 賛】 NPO法人ふくしま飛行協会

【開催日時】 平成 27 年 7 月 24 日（水）午前 12 時 30 分～午後 14 時 30 分

【参加人数】 45人

【目 的】

福島民報社に応募した社会人を対象とし、社会科の見学(学習)する機会とする。ふくしまスカイパークの機能と多面的活用を解説し、市民の憩いの場であることを周知した。また震災後のふくしまスカイパークの利活用等も紹介し、防災の拠点施設として使われている事も併せて周知した。

【内 容】

- ・ 施設紹介
- ・ 通常の業務紹介と震災後のスカイパークでの支援活動などを紹介
- ・ 食事=W i n g ・ C a f e

【施設見学会の詳細】

- ・ 施設内の移動はバスで行う
 - 1 管理棟見学
 - 2 バスで滑走路走行 (RUNWAY32 から離陸スピード体感 400 メートル地点まで加速)
 - 4 機体展示場、常駐機などを紹介

【プレゼント】

- ・ スカイパーク・エコバック
[エコバック中身] パンフレット・行事 PR 紙



以上

「もちずり学習センター施設見学会（ゆうゆうセミナー）」

【主催】 福島市もちずり学習センター

【協賛】 NPO法人ふくしま飛行協会

【開催日時】 平成27年 8月31日（月）午前14時00分～午後14時30分

【参加人数】 20人

【目的】

ふくしまスカイパークの活動を見学（研修）する機会をとおり、ふくしまスカイパークの多目的活用や環境保全の取り組みを理解し市民の憩いの場であることを体験していただきました。また、震災後のスカイパークの活用についても紹介し、このことにより地域の新しい観光の施設拠点だけではなく防災拠点にもなっていることを周知しました。

【内容】

- ・ 施設紹介
- ・ 通常の業務紹介と震災後のスカイパークでの支援活動などを紹介

【施設見学会の詳細】

- ・ 施設内の移動はバスで行う
 - 1 施設概要や業務の説明（エプロンにて）
 - 2 バスで滑走路走行
 - 3 機体展示場、常駐機などを紹介

【プレゼント】

- ・ スカイパーク・エコバック
[エコバック中身] パンフレット・行事PR紙

以上

「ライダーズ PIT in ふくしまスカイパーク」

【開催日時】平成27年9月13日（日）午前09時00分 ～ 午後15時00分

【会 場】ふくしまスカイパーク

【主 催】福島県観光物産交流協会

【供 催】株式会社 八重洲出版

【協 力】NPO 法人ふくしま飛行協会

【来場者数】4000人

【目 的】

二輪車ユーザーの誘客と無料開放中の県観光有料道路利用促進のため、東北最大級のバイクイベント「ライダーズ PIT in ふくしまスカイパーク」が9月13日（日）ふくしまスカイパークで開催された。当日は県内外から多くの二輪車ユーザーや来場者が集まるの見込みがあり、観光・農産物販売の促進につなげるため、会場設営や安全管理等の協力をした。

【内 容】

- ・ 規制ロープの設営
- ・ 三角カラーコーンの貸し出し
- ・ ホームページ、ブログなどで開催告知
- ・ 会場案内（放送）の協力など
- ・ 当日の安全管理



以上

「福島の輝く未来へ！
スポーツわくわくプロジェクト 第三弾
～大空に羽ばたけ！スカイスポーツ教室～」

【主催】 福島県（文化スポーツ局 スポーツ課）

【運営】 株式会社パスファインダー

【協力】 NPO 法人ふくしま飛行協会

【開催日時】 平成 27 年 9 月 19 日（土）午前 10 時 30 分～午後 14 時 30 分

【参加人数】 参加者：532 名（内こども：223 名） 関係者：150 名

【目的】

子どもたちの将来の自分づくりの一環として、小学生を対象にスポーツ分野のトップ選手との交流を通じてスポーツに触れ合える機会を提供し、心・技・体の精神を学び、これからの自分が未来へ挑戦していこうと考える機会を提供するイベントを開催。また本イベントを通し、ふくしまの人的財産（室屋義秀パイロットなど）を有効活用し、これまでの経験を伝えることを通じて、子どもたちの未来へチャレンジする心をサポートする。

【内容】

- ・ 規制ロープの設営
- ・ 三角カラーコーンの貸し出し
- ・ 会場案内(放送)の協力など当日の安全管理



以上

「V-Twin Drag Race」

【開催日時】平成 27 年 9 月 22 日（火）午前 09 時 00 分 ～ 午後 17 時 00 分
平成 27 年 9 月 23 日（水）午前 09 時 00 分 ～ 午後 17 時 00 分

【会 場】ふくしまスカイパーク

【主 催】V-Twin Drag Race Association

【協 力】NPO 法人ふくしま飛行協会

【来場者数】 9 月 22 日 600 名 9 月 23 日 600 名

【目 的】

全国各地で開催されているハレーダビッドソンのドラッグレース「V-Twins Drag」S&S カップの最終戦が 9 月 22 日、23 日にふくしまスカイパークで開催された。

当日は県内外から多くの参加者、観客の来場が見込まれるので、観光・農産物販売の促進につなげるため、会場設営等の協力をしました。

【内 容】

- ・ 規制ロープの設営
- ・ 三角カラーコーンの貸し出し
- ・ ホームページ、ブログなどで開催告知
- ・ 会場案内（放送）の協力など
- ・ 食事=W i n g ・ C a f e



V-Twin ホームページから



V-Twin ホームページから

以上

「伊達市霊山町山林火災消火活動ヘリサポート」

【開催日時】 平成28年 3月30日(水)～3月31日(木)

【受入人数】 40人

【内 容】

平成28年3月30日(水)、福島県伊達市霊山町山野川地区において山林火災が発生し、同日午後2時頃に福島県消防防災航空隊より、宮城県防災航空隊のヘリコプターの給油で使いたいまでの要請があり、給油サポートを行う。また翌日、午前7時45分には福島県消防防災航空隊より自衛隊機の給油ベースで利用したいまでの要請があり、午前8時10分には東北方面ヘリコプター隊のタンクローリー車4台を受け入れ、その後は午前8時45分から午後4時40分までの間、第1ヘリコプター団(木更津)の大型輸送ヘリCH-47(2機)の給油のための着陸が5回行われ、フライトサービスなどのサポートを行う。



以上